



子育てチャンネル

お引っ越し

自然保護官として仕事を
する夫について、わが家
は全国を転勤して生活して
います。

赴任期間はだいたい3年
前後。子供が小さいうちは
「父と一緒に引っ越し」と
気楽なものです。子供
が保育所、幼稚園、小学校
へ通うようになるにつれ、
引っ越しも気楽なものではな
くなってきます。

お友達が出来、仲良く毎
日を共に過ごすようになる
と、別れはとってもつら
いものだろうなあ、小さな
胸をどんな風にして痛めて
いるんだろうなあ、などと
考えて一緒に切なくなつて
みたり、赴任地での生活を
スタートさせる時には新し
いクラスで馴染めるかと気
になってみたり、出会いの
緊張と別れの切なさの短い
スパンでやってくるわが家

の場合、普通の暮らしとは
また違って、特殊な気持ち
で日々を過ごしているのか
もしれません。

…とはいっても、このよ
うな条件の違い以外の子育
て風景は、どこの家庭とも
違いはなく、子供
に思うこと、
願うことは
ごく普通。
私自身、
父親が厳
しく一貫
性のある
親でしたの
で、わが子ら
に對しても、か

なり口うるさい母だろうと
思います。そして夫は仕事
で家を空けることが多いの
で、父親像も家庭内に感じ
てもらえるように、子供た
ちと向き合うよう心掛けて
いる分、かける言葉もつい



つい厳しくなってしまうま
す。

小学3年、1年、年少の
子供たちはそれぞれで、反
抗期が始まってみたり、ピ
タリ治って上機嫌になつて
みたり、母の気持ちは整理
が付かないまま、

どんどん子供
の時間は
進んでい
きます。
夫に子
供の様
子を伝え
ながら、
叱る以外に
伸ばす方法はな
いものか、どうしたら良い
か、と語り合い「なんでこ
んな風なんだろう。どこで
覚えたんだろう（笑）」と
言ってみても「育てたよう
に子は育つ」、そつなので、
すべてわが身に返ってきて、

一つひとつのことに「あ
りがとう」と思える人にな
ってほしいと願い、環境の
変化の多いわが家なりに
一人ひとり頑張っているだ
ろう笑顔の子供たちに「感
謝」です。

佐藤 晴子